



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 パシフィックシステム株式会社
コード番号 3847 URL <http://www.pacific-svstems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 永史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総合企画部長 (氏名) 小林 和重

TEL 048-845-2200

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,580	△7.6	211	—	222	950.3	146	—
27年3月期第3四半期	6,038	8.5	6	△84.4	21	△55.6	12	△53.7

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 156百万円 (302.4%) 27年3月期第3四半期 38百万円 (△3.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	99.16	—
27年3月期第3四半期	8.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,377	3,516	65.4
27年3月期	5,939	3,456	58.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,516百万円 27年3月期 3,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	8,616	△2.4	393	3.1	397	0.1	254	3.8
							円 銭	
							171.88	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	1,480,000 株	27年3月期	1,480,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	287 株	27年3月期	211 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	1,479,741 株	27年3月期3Q	1,479,791 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や底堅い個人消費により全体として緩やかな回復基調で推移してきましたが、後半になって中国経済の減速及び原油安等により企業収益に陰りが見え始め、景気も足踏み状態となりました。一方、世界経済は、米国・欧州の先進国では景気回復が続きましたが、中国をはじめとするアジア新興国では景気の減速がみられました。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、緩やかな回復傾向が続きました。

このような状況のもと、当社グループは17中期経営計画（2015年度～2017年度）の基本方針に従って、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、機器等販売、ソフトウェア開発、システム販売が減少したため、5,580百万円（前年同期比7.6%減収）となりました。しかしながら、利益につきましてはソフトウェア開発において売上原価が低下したこと等により、営業利益211百万円（前年同期は営業利益6百万円）、経常利益222百万円（前年同期は経常利益21百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益146百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益12百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

①機器等販売

売上高は機器販売が減少したため、933百万円（前年同期比14.8%減収）となりました。セグメント損益は利益率低下のため、9百万円の利益（同75.1%減益）となりました。

②ソフトウェア開発

売上高は前期に大型開発案件の売上があったこと等により、872百万円（前年同期比16.9%減収）となりました。セグメント損益は不採算案件の収束等により売上原価が低下したため、134百万円の利益（前年同期は94百万円損失）となりました。

③システム販売

売上高はインフラサービス、画像処理システム等が減少したため、1,605百万円（前年同期比10.4%減収）となりました。セグメント損益は売上高の減少にともない、113百万円の利益（同31.7%減益）となりました。

④システム運用・管理等

売上高は2,193百万円（前年同期比1.9%増収）となりました。セグメント損益は売上高の増加に伴い、615百万円の利益（同16.9%増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14.8%減少し、3,037百万円となりました。これは、主に現金及び預金が437百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、2,339百万円となりました。これは、主に無形固定資産が45百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて9.5%減少し、5,377百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて27.3%減少し、1,485百万円となりました。これは、主に買掛金が324百万円、賞与引当金が142百万円、1年内返済予定の長期借入金が63百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて15.0%減少し、375百万円となりました。これは、主に固定負債その他に含まれている長期前受収益が24百万円増加したものの、固定負債その他に含まれている長期未払金が85百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて25.1%減少し、1,860百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.7%増加し、3,516百万円となりました。これは、主に株主配当金の支払が96百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を146百万円計上したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年5月14日の「平成27年3月期 決算短信」で公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	979,269	541,535
受取手形及び売掛金	1,495,226	1,166,753
リース投資資産	370,305	418,736
商品及び製品	103,531	99,960
仕掛品	264,019	531,317
原材料及び貯蔵品	29,515	24,627
その他	322,186	255,377
貸倒引当金	△725	△642
流動資産合計	3,563,329	3,037,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	746,632	708,947
土地	532,744	532,744
その他(純額)	357,052	396,664
有形固定資産合計	1,636,429	1,638,357
無形固定資産	233,936	188,102
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	242,835	247,905
その他	265,662	269,217
貸倒引当金	△2,371	△4,241
投資その他の資産合計	506,126	512,881
固定資産合計	2,376,492	2,339,340
資産合計	5,939,821	5,377,006
負債の部		
流動負債		
買掛金	730,942	406,426
1年内返済予定の長期借入金	94,959	31,573
未払費用	210,890	267,662
未払法人税等	-	57,013
賞与引当金	284,922	142,278
受注損失引当金	647	333
アフターコスト引当金	72,120	27,925
その他	647,065	551,878
流動負債合計	2,041,546	1,485,091
固定負債		
長期借入金	3,294	-
その他	438,838	375,616
固定負債合計	442,132	375,616
負債合計	2,483,678	1,860,708

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	2,394,530	2,445,080
自己株式	△306	△462
株主資本合計	3,412,045	3,462,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,563	92,030
退職給付に係る調整累計額	△40,466	△38,172
その他の包括利益累計額合計	44,097	53,858
純資産合計	3,456,142	3,516,297
負債純資産合計	5,939,821	5,377,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	6,038,616	5,580,158
売上原価	4,986,753	4,302,209
売上総利益	1,051,863	1,277,948
販売費及び一般管理費	1,045,469	1,066,747
営業利益	6,393	211,201
営業外収益		
受取利息	111	121
受取配当金	3,863	4,056
受取手数料	1,616	1,587
受取保険料	3,545	478
補助金収入	11,935	13,539
その他	3,666	1,536
営業外収益合計	24,739	21,318
営業外費用		
支払利息	2,833	1,566
売上割引	4,233	3,232
シンジケートローン手数料	2,097	1,912
和解金	-	3,127
その他	810	444
営業外費用合計	9,973	10,282
経常利益	21,158	222,238
特別利益		
固定資産売却益	1,915	-
投資有価証券売却益	1,200	-
特別利益合計	3,115	-
特別損失		
固定資産売却損	307	-
固定資産除却損	339	58
特別損失合計	646	58
税金等調整前四半期純利益	23,627	222,179
法人税等	11,223	75,442
四半期純利益	12,403	146,736
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,403	146,736

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	12,403	146,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,305	7,466
退職給付に係る調整額	4,184	2,294
その他の包括利益合計	26,489	9,760
四半期包括利益	38,893	156,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,893	156,497
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,094,751	1,025,319	1,785,400	2,133,144	6,038,616	—	6,038,616
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	24,825	7,334	20,692	52,852	△52,852	—
計	1,094,751	1,050,145	1,792,734	2,153,837	6,091,469	△52,852	6,038,616
セグメント利益又は損失(△)	39,976	△94,952	165,418	526,333	636,776	△630,383	6,393

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△630,383千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	933,173	867,082	1,596,175	2,183,727	5,580,158	—	5,580,158
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	5,799	9,502	10,108	25,443	△25,443	—
計	933,206	872,881	1,605,678	2,193,836	5,605,601	△25,443	5,580,158
セグメント利益	9,964	134,088	113,043	615,329	872,425	△661,224	211,201

(注) 1 セグメント利益の調整額△661,224千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。